

情報開示と株主還元の充実

株主・投資家の皆様への適切な情報開示による透明性の高い経営を行うとともに、長期安定的な株主還元の実現に努めています。

株主還元方針

日本光電は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策の1つと位置付けています。利益の配分につきましては、健全な財務基盤を確保した上で、将来の企業成長に向けた投資と株主還元の充実を図ることを基本方針としています。優先順位については、i) 研究開発や設備投資、M&A・提携、人財育成など将来の企業成長に向けた投資、ii) 株主還元としています。株主還元については、業績の伸長に応じて安定的な増配を行うとともに、自己株式の取得は、今後の事業展開、投資計画、内部留保の水準、株価の推移等を総合的に考慮し、機動的に実施します。株主還元の指標・目標は、「連結総還元性向35%以上」としています。

2025年度につきましては、年間配当金は1円増配の32円とし、2025年12月～2026年3月に実施した50億円の自己株取得を含む連結総還元性向は70%となりました。なお、2026年6月18日に自己株式300万株を消却しました。

情報開示方針

株主様はもとより広く社会とのコミュニケーションを図り、企業情報を適切かつ公平に開示し、透明性の高い経営を目指すことを「日本光電行動憲章」に定めています。この精神に則り、当社グループに係る情報を適時適切かつ公平に分かりやすく開示し、ステークホルダーの皆様の日本光電に対する理解と信頼を深め、適正な評価を得ることを目指しています。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

■ 株主総会

株主総会は、できるだけ多くの株主様にご参加いただけるよう、集中日を避けた開催に努めています。当日は、日本光電の医療機器の展示を行い、株主様に製品の特長などをご説明しています。2026年6月開催の株主総会では、オートショックAED、人工呼吸器、医用テレメータ、送信機、オンサイトアラーム分析ソフトウェア、入退院業務新ソフトウェア、SEEG電極※をご紹介しました。また、当日の議長説明動画を当社ウェブサイトに掲載しました。海外の方向けには、招集通知、決議通知、議決権行使結果の英文版を作成し、当社ウェブサイトに掲載しています。

※ SEEG (Stereo-Electroencephalogram)：定位的頭蓋内脳波。てんかん焦点を特定するため、脳深部に細い電極を複数挿入し、脳波を立体的に記録・解析。

■ 決算説明会・事業戦略説明会

証券アナリスト・機関投資家の皆様向けに、決算説明会（第2四半期、期末決算発表時、対面・オンラインのハイブリッド形式）とオンライン・カンファレンス（第1四半期、第3四半期決算発表時）を開催し、業績や今後の戦略についてご説明しています。当社ウェブサイトには決算説明会の動画や資料、質疑応答を掲載し、株主・投資家の皆様に公開しています。また、2026年3月には、デジタルヘルスソリューション（DHS）構想説明会をオンライン形式で開催し、長期ビジョンの実現に向けたDHS構想の進展について、日本と北米の事業責任者がそれぞれご説明しました。

情報開示と株主還元の充実

■ 個人投資家様向け会社説明会・株主様向けイベント

日本光電の経営戦略や事業内容をご理解いただき、長期的にご支援いただけるよう、個人投資家様向け会社説明会を開催しています。2025年度は、対面で1回、オンライン形式で2回開催しました。対面開催においては、生体情報モニタやAEDを展示し、特長や使い方のデモンストレーションを通じて、当社製品への理解深耕を図りました。

参加された投資家の皆様からのご質問・ご感想は以下のとおりです。

- 当社の経営理念、医療に貢献する事業は素晴らしいと思う。
- 日本では、医療機関の経営が厳しくなっているが、設備投資意欲はどうか。
- 北米で高成長を目指す上でのリスクは何か。
- 今後も画期的な製品開発、収益性の向上に注力してほしい。
- キャッシュ創出力が高いと思うが、株主還元の強化をどのように考えているか。
- サステナビリティ経営の実践における重点ポイントは何か。

2026年度の開催予定は、当社ウェブサイトにて随時掲載します。

詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。



個人投資家向け会社説明会



日本証券アナリスト協会
日経茅場町カンファレンスルームでの
会社説明会



オンライン会社説明会
(野村 IR 資産運用フェア2026で配信)

TOPICS

株主様アンケートでいただいたご意見

今後の株主通信・IR活動の充実のため、年1回、株主様アンケートを実施しており、以下のよう
なご意見をいただきました。

- 中期経営計画に関する説明が充実していて理解が深まった。
- 今後も当社の成長と医療への貢献を応援したい。
- 会社説明会(会場開催・オンライン形式)を開催してほしい。
- 収益確保、安定配当を期待している。
- 株主通信は情報が簡潔にまとまっていて分かりやすい。

■ 株主・機関投資家との対話

社長や執行役員、経営戦略統括部長、IR担当が、国内外の機関投資家への訪問や個別面談、電話取材などに対応しています。

対話の実施状況

2025年度は、株主・機関投資家とのミーティングは延べ約425社(うち株主約160社)と実施しました。四半期ごとの決算概要や見通しに加え、中期経営計画の進捗、M&Aなどの成長投資、株主還元を含む資本政策、ガバナンス強化やサステナビリティ推進の取り組みについて説明・対話を行いました。

社内へのフィードバック

IR活動で得た株主・投資家の意見・要望は、IR担当部署である経営戦略統括部が取りまとめ、取締役や経営陣、関係部署に共有し、社内での活用を図っています。

詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。

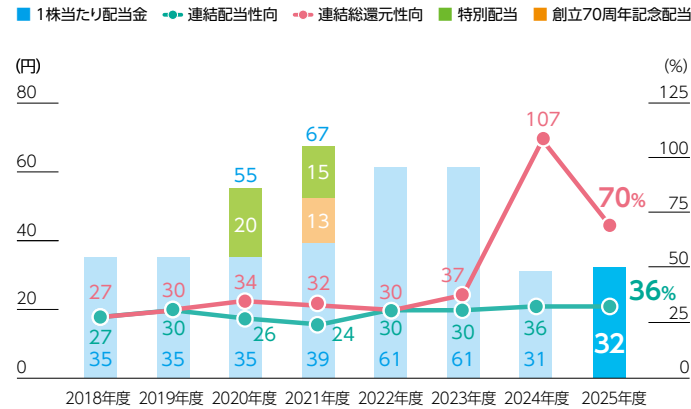


株主・投資家との建設的な対話



情報開示と株主還元の充実

1株当たり配当金・連結配当性向・ 連結総還元性向の推移



株価の推移



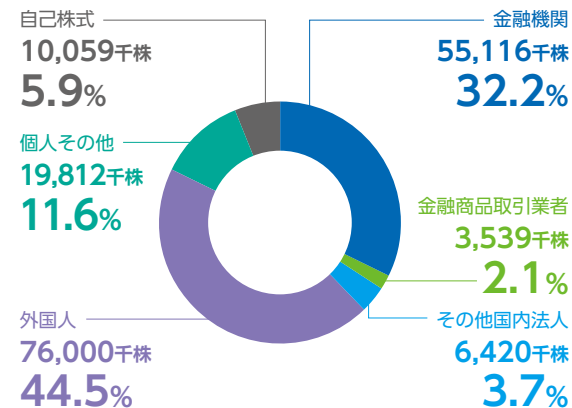
※ 2024年7月1日を効力発生日として、株式1株につき2株の株式分割を実施しています。
上記株価につきましては、分割日以前の取引値についてもさかのぼって修正しています。

機関投資家・個人投資家との対話件数

(2026年3月期実績)

- 機関投資家・証券会社アナリストとのミーティング
延べ **約425社** (うち、株主約160社)
- 株主通信アンケート回答数 (ハガキ・WEB)
331名
- 個人投資家向け会社説明会 (全3回)
ライブ視聴 **約1,045名**、会場参加 **約40名**、
アーカイブ視聴 延べ **約4,200名**
- 個人投資家向け「動画で知る 日本光電」シリーズ
延べ **約1,100回**再生

株式分布状況 (2026年3月31日現在)



大株主 (2026年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	23,724	14.74
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	8,085	5.02
株式会社埼玉りそな銀行	7,957	4.94
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	7,839	4.87
ジック プライベート リミテッド シー	6,244	3.88
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505103	6,139	3.81
GOVERNMENT OF NORWAY	5,934	3.68
ジェーピー モルガン チェース バンク 385166	3,076	1.91
全国共済農業協同組合連合会	2,710	1.68
株式会社三菱UFJ銀行	2,650	1.64

※ 当社は、自己株式10,059千株を保有していますが、上記の大株主からは除いています。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しています。なお、従業員向け株式給付信託の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が保有する当社株式930千株は、当該自己株式には含まれていません。

TOPICS

日本光電は、2025年12月、日興アイ・アール株式会社による「2025年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」の総合部門にて最優秀サイトに選ばれました。同調査は、日興アイ・アールが全上場企業3,937社のホームページについて、「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3つの視点で設定した168の客観的な項目により評価を行い、ランキングとして発表したものです。日本光電では、今後もIRサイトの充実を図り、株主・投資家の皆様へのタイムリーで分かりやすい情報発信を目指し、IR活動の向上に取り組めます。

